

実務家としての一年目を振り返る

会員 杉山 日那子



修習生だった当時、私は単独登山に明け暮れた。

初めて単独で登頂したのは、初夏の岩木山（津軽平野にそびえる単独峰）だった。下山後、弘前駅から青森駅に向かう奥羽本線の中で、ビール片手に、登山靴の紐を緩めながら、私は以下のような内容を頭に巡らせた。

単独登山における出来事一切は、自分の努力による良い結果／自分の努力以外の要因による良い結果、自分の努力不足による悪い結果／自分の実力以外の要因による悪い結果のいずれかに一見して分類可能であって、自分の努力不足による悪い結果を自分の努力以外の要因による悪い結果だから仕方がないとしたり、自分の努力以外の要因による良い結果を、自分の努力による良い結果だとするようなごまかしのしょうがまるでない。ごまかそうと思ってみてもごまかせないのだから、ごまかそうとする気持ちが湧かない。その分、自分の努力不足による悪い結果については敗因分析の意欲（例えば、水場があったから救われたものの、持参した水を飲み干しかけて不安に陥ったことについて、炎天下で必要となる水の量を想像できなかったのは何故だろうと考えた）が、自分の努力以外の要因による良い結果については生きとし生けるものへの感謝の気持ち（例えば、もう引き返そうと思った瞬間に目の前に現れ、もう一度頂上へ歩みを進めようと思わせてくれたミチノクコザクラの群生を有難く思った）が湧く。清々しい気持ちになって、次回の山行を楽しみに思った。

実務家となって以来、私は仕事に明け暮れている。

実務家となって一年経つが、私は国際カルテル、

国際仲裁をはじめ様々な業務に関わった。仕事を終えて一人歩く首都高速都心環状線の直下の道路で、ビール片手に、ヒール靴で甲高い足音を響かせながら、私は以下のような内容を頭に巡らせた。

仕事における出来事一切は、自分の努力による良い結果／自分の努力以外の要因による良い結果、自分の努力不足による悪い結果／自分の実力以外の要因による悪い結果のいずれかに一見して分類可能であって、自分の努力不足による悪い結果を自分の努力以外の要因による悪い結果だから仕方がないとしたり、自分の努力以外の要因による良い結果を、自分の努力による良い結果だとするようなごまかしのしょうがまるでない。ごまかそうと思ってみてもごまかせないのだから、ごまかそうとする気持ちが湧かない。その分、自分の努力不足による悪い結果については敗因分析の意欲（例えば、つまらない形式上のミスをなくすために、急いでいても一度出力して確かめようと考えた）が、自分の努力以外の要因による良い結果については生きとし生けるものへの感謝の気持ち（例えば、その日出席した英語の会議の内容が理解できなかったと職場近くのラーメン屋で肩を落としていたときに、もう一度やってみようと思わせてくれた、「できないということは諦める理由にはならない」という上司の一言を有難く思った）が湧く。清々しい気持ちになって、次の業務を楽しみに思った。

振り返ればこの一年、修習生だった当時に心の支えとしていた単独登山へ出かけたことはない。それでも不安はない。